はしがき

本報告書は、株式会社 三菱総合研究所が、平成 24 年度に外務省から実施を委託された「国際緊急援助隊の評価」について、その結果をとりまとめたものです。

日本の政府開発援助(ODA)は、1954 年の開始以来、途上国の開発及び時代とともに変化する国際社会の課題を解決することに寄与しており、今日、国内的にも国際的にも、より質の高い、効果的かつ効率的な援助の実施が求められています。外務省は、ODA の管理改善と国民への説明責任の確保という二つの目的から、主に政策レベルを中心とした ODA 評価を毎年実施しており、その透明性と客観性を図るとの観点から、外部に委託した第三者評価を実施しています。

本件評価調査は、日本の国際緊急援助隊(自衛隊部隊を除く)のスキーム全体をレビューし、日本政府による今後の効果的・効率的な国際緊急援助(人的援助)の実施の参考とするための教訓を得て提言を行うこと、更に評価結果を広く公表することで国民への説明責任を果たすことを目的として実施しました。

本件評価の実施に当たっては、東京工業大学都市地震工学センターの梶秀樹特任教授に評価主任をお願いして、評価作業全体を監督して頂き、また、同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科の小山田英治教授にアドバイザーとして、現地調査を行ったインドネシアについての専門的な立場から助言を頂くなど、調査開始から報告書作成に至るまで、多大な御協力を賜りました。また、国内及びインドネシア現地調査でのヒアリングの際には、外務省、独立行政法人国際協力機構(JICA)、国際緊急援助隊に実際に参加された隊員の方々、現地政府機関や各ドナーなど、多くの関係者の皆様から御協力を頂きました。ここに心から感謝申し上げます。

最後に、本報告書に記載した見解は、本件評価チームによるものであり、日本政府の見解や立場を反映したものではないことを付記します。

2013 年 2 月

株式会社 三菱総合研究所